スタートガイド

ご老人介護、療養介護の方への排泄介護支援

排泄検知センサーシステム
「　おしりカイテキ　」専用スタートガイド

はじめに

本書は、「　おしりカイテキ　」の電池装着～センサーが反応した場合の操作方法までを説明しています。
より詳しくお知りになりたい場合は場合は、取扱説明書をご覧下さい。
また、送信機、受信機は防水仕様ではない為、水、排泄物に濡れないようにご注意下さい。

パッケージ同梱物

・送信機TX-01本体　１個
・受信機RX-01本体　１個
・ボタン電池CR2032　１個
　*同梱の送信機に装着されています。
　お使いになる際は、電池蓋から出ている透明の絶縁フィルムを抜いて
　からお使い下さい。
・単４型電池（受信機用）２個
　*付属の単４型電池以外にも、充電式単４型電池もご使用が出来ます。
　この場合、充電器は別にお買い求め下さい。
・マジックテープアダプター　１個
　*送信機の電池蓋を取替えてご使用下さい。
・取扱説明書　１冊
・スタートガイド（本誌）

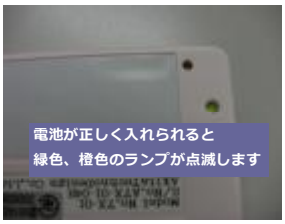
ご注意事項

■ センサーをご使用中に肌のトラブルが生じた際は、直ぐにご使用をお止め下さい。
■ ペースメーカーをご使用の方へのご利用は、差し控えて下さい。
■ 他の無線機器と混線する場合は、ご使用をお止め下さい。
■ 部品の誤飲、誤使用とならないようご注意下さい。

1011-01

送信機の電池装着

- 電池蓋の端に力を加え、押し下げるようにして蓋をスライドさせながら外します。



- 電池のプラス極性の面を上にし、最初に電池ケースの爪に電池の端を入れます。
- その後、電池のもう一方の端を押し込み取付けます。
- 電池を外す時は、電池ケースの爪を爪楊枝などで軽く横に外し、電池を取り出します。
- 電池を入れる際、取り出す際は、電池ケースの爪を破損、変形させないように注意して下さい。
- 電池が正常に入った場合は、送信機のランプが緑色と橙色に相互に点滅します。
　この点滅は約５秒後に消灯します。
- ランプが点滅しない場合、又は赤色と緑色が交互に点滅する場合は、再度電池を入れ直すか新しい電池に交換してから入れ直して下さい。
- 電池が消耗した場合は、送信機のランプが赤点滅します。

１．　お使いになる前に～電池の入れ方、取り外し方

受信機の電池装着

- 電池蓋の端に力を加え押し下げるようにし、蓋をスライドさせながら外します。

- 充電式リチウム電池又は、アルカリ電池をプラス側、マイナス側を間違えないように入れます。
- 充電式リチウム電池とアルカリ電池は混ぜないで下さい。
- 電池はいづれも単四電池です。
- 電池を入れたら、電池蓋をスライドさせ所定の位置に戻します。

- 電池を正常に入れた場合は、受信機の番号表示部が全点灯します。
　この点灯は約５秒後に消灯します。
- 表示部が全点灯しない場合は、電池を入れ直すか、充電済みの電池、あるいは新しい電池と交換して下さい。
- 通常のご使用時は、全て消灯しています。
- 受信機の電池が消耗した場合、「ＬＯ」と表示し音声案内があります。
　また、送信機の電池が消耗した場合は、当該送信機の番号が表示され、番号表示部の左右のドットが交互に点滅し、さらに音声案内があります。

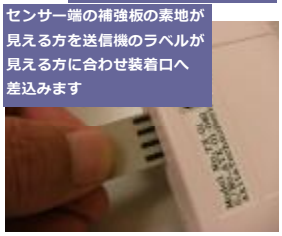
２．　センサーの送信機への取付け

センサーの尿取パッドへの貼付～送信機への取付け

- センサーのセパレータ(黄色の剥離紙)を剥します。

- センサーを尿取パッドの任意の位置に貼付します。
　貼付位置は、ご使用の目的に合せ調整して下さい。
　また、３項の「尿取パッドへのセンサー貼付位置」及び、取扱説明書もご参照下さい。

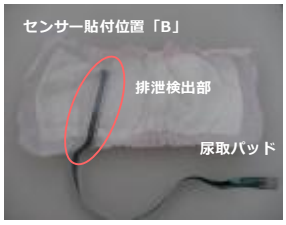
- センサーの接続端子部を補強板に沿って曲げます。
　曲げる際は、補強板との折り目部分を指などで強く擦らないで下さい。
　信号線（黒線の部分）が断線し、センサーが反応しなくなる場合があります。
- センサー補強板の素地が見える側を、送信機のラベル側向きにして装着口へ差込みます。
- 装着口へは補強板が止まるまで強く押込みます。
　正しく装着された場合は、送信機の緑ランプが数秒間点滅します。
- 送信機のランプが点灯しない、又は赤色、緑色で交互に点滅する場合は、正しく差込みが出来ていませんので、方向等を確認した上で再度装着口へ差込んで下さい。
　これで、準備作業は終了です。



3． 尿取パッドへのセンサー貼付、送信機の取付け例

尿取パッドへのセンサー貼付位置

- センサーの排泄物検出部は赤丸で囲った箇所になります。
  センサーの緑色の部分を除いた透明な部分です。
- 排泄の位置に応じてセンサーの検知部の貼付位置を調整しお使い下さい。
- 「A」の貼付位置の場合、センサーの端子はおつむ前方から引出して下さい。
  また、「B」「C」の貼付位置の場合、センサーの端子は、おむつの脇から引出して下さい。
  センサーの端子の引出し方向は、貼付位置に応じて適時調整して下さい。

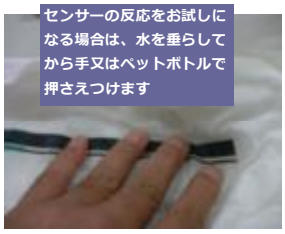


おむつ、下着への送信機取付け例

- センサーをおむつ前方から引出して、送信機をおむつ又は下着に送信機のクリップで止めます。
- センサーをおむつの脇から引出して、送信機をおむつ又は下着に送信機のクリップで止めます。
- 送信機のクリップは、マジックテープ仕様の部品に変えて、おむつ等に貼り付けられます。
  マジックテープ仕様への変更は、送信機の電池蓋の部品を付属のマジックテープアダプターに取替えてご使用下さい。

4． センサーの反応を確かめる場合

センサーの反応を机上でお試しになる場合



- センサーの反応をお試しになる場合、センサーの反応部分に約１００ｃｃ程度の水を垂らした後、センサーの上から手、又はペットボトルなどで圧迫して下さい。
  これは、ご使用の方の体重に相当させるためです。
- センサーの反応は、尿取パッドの吸収体からの尿、便の水分の染み出しにより反応します。
  その為、センサー検出部への体重を想定した圧迫がなければ反応はしない場合があります。
  また、少量の尿、汗などでは反応はしません。

5． センサーが反応した場合

センサーが反応した時の受信機への案内

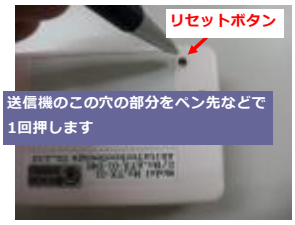
- センサーが尿、便を検知すると、およそ１分の間に送信機のランプが緑色に点滅します。
- また、受信機ではご使用の方の送信機番号を表示します。
  同時に音声で状態を案内します。
- この表示と音声は、排泄ケアが出来ない場合は約１０分毎に同様の表示、音声案内がされます。
- １０分毎の表示、案内が暫く続いた場合は、電池の消耗が早まります。
- 排泄ケアを終えて、新しいセンサーを送信機に装着すると受信機の番号表示が消え、音声案内も終了します。

  この状態で、再度排泄を検知する状態となります。

- ご使用になっている間にセンサーが送信機から外れた場合は、送信機のランプが赤色と緑色が交互に点滅し受信機ではセンサーが外れた送信機の番号が表示されセンサーが外れた旨の音声案内がされます。
- この場合、センサーを送信機に入れ直すと、通常の検出待ち状態に復帰します。

6． 電池の消耗を抑えるために　＜ 重要 ＞

暫くお使いにならない場合の送信機、受信機の処置



- 暫く送信機、受信機をお使いにならない場合は、電池の消耗を抑える為に、センサーを外した後に送信機のリセットボタンをペン先などで１回押して下さい。
  また、受信機のリンクスイッチを１回指で押して下さい。
- 再度お使いになる場合は、センサーを送信機に入れると通常状態に復帰します。

センサーを装着した後の受信機の操作

- センサーを送信機へ装着した後に、受信機のリンクスイッチを１回指で押してください。
  リンクスイッチを押さなくても約１分後には排泄を検知する状態となりますが、電池の消耗を抑えるために、リンクスイッチを押すことをお勧めします。

受信機が排泄をお知らせした後のケア

- 受信機が排泄したことをお知らせした場合は、すみやかなケアをされ、新しいセンサーの装着をお勧めします。
  何らかのご都合で直ぐにケアが出来ない場合は、１０分毎にお知らせされますが、電池の消耗が過剰に進みますのでお気を付け下さい。